

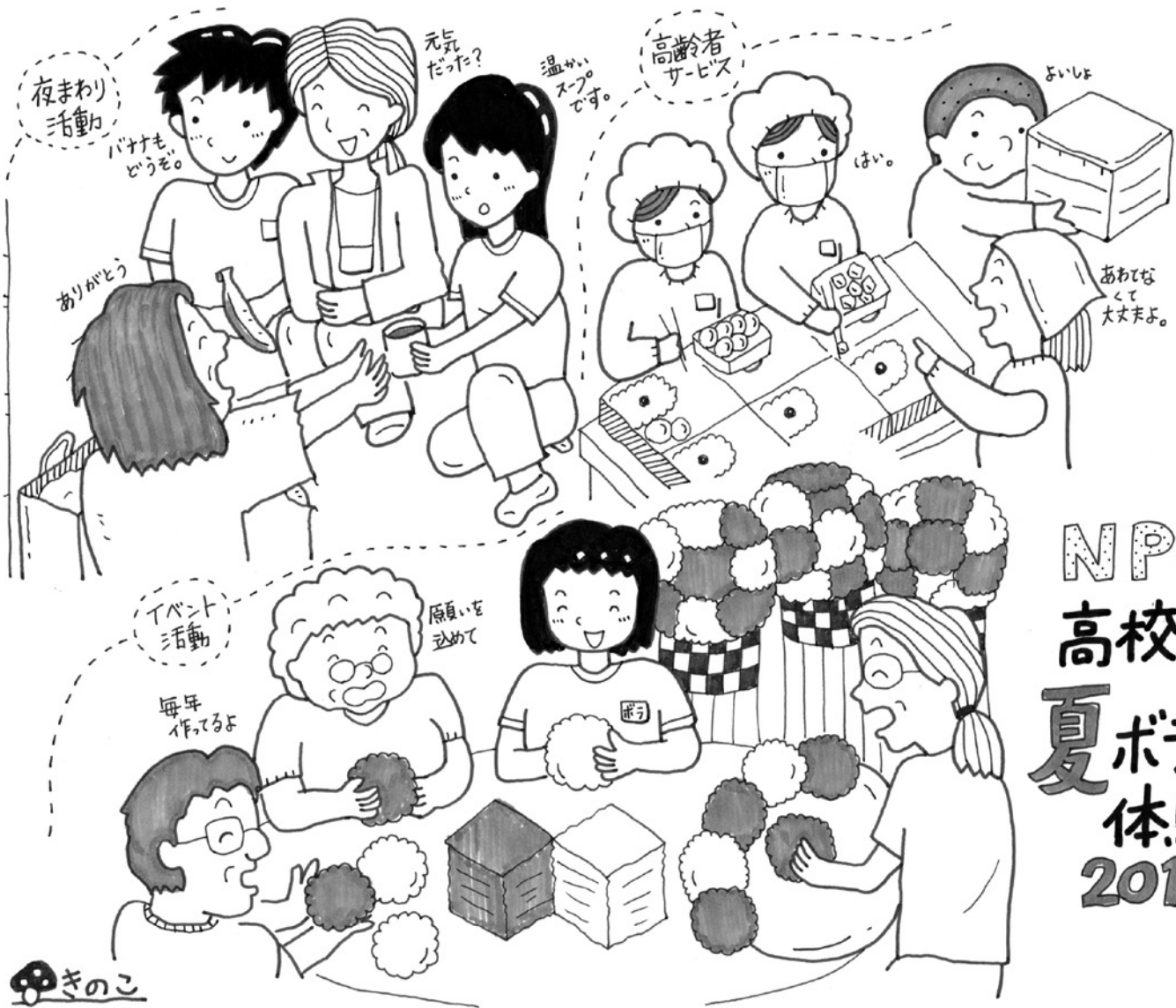
みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2015
vol.220
毎月1日発行

9月号

杜の伝言板 ゆるる

月刊



NPOで 高校生の 夏ボラ 体験 2015

- NPOで高校生の夏ボラ体験 体験して何かが変わった?!
- 学校外の学びを応援する法律をつくろう 全国キャラバン!! IN 仙台 開催報告 NPO法人アスイク
- 信頼できる人との出会い ひきこもりからの脱出

みやぎNPOプラザからのお知らせ

10月18日開催! 今日から、始める。市民活動! みやぎNPOフォーラム2015

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



NPOで高校生の夏ボラ体験

体験して何かが変わった?!

夏休みと同時に始まった「NPOで高校生の夏ボラ体験」(夏ボラ)。

「ボランティア体験を通して地域課題の解決に取り組むNPOを理解し、将来、何かしら関わってもらえる環境を作りたい!」とはじまった夏ボラも、今年で13回目になります。

今年は県内30のNPOでボランティア体験を行い、8月24日の体験日をもってすべて修了しました。

ボランティア体験を終えた高校生から続々体験談が届いていますので、感動の気づきの一端をお届けします!

●●● 短冊渡しは二期一会 ●●●

まずは、NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台(シニアネット仙台)で体験した宮城野高等学校Y・Sさんの体験談です。『これを配って』。そう言われ一人ひとりに手渡されたのは、十枚の短冊。この短冊が私を変えたのです。

私は「シニアネット仙台」で、七夕祭りの短冊配りと震災遺児のための募金集めを行いました。短冊配りは個人で行うもので、自分から声を掛け、短冊に願い事を書いてもらわなければなりません。元々人付き合いが苦手な私は、あまり積極的にはなれませんでした。そのため私の短冊は一向に減ることはなく、周りが次の短冊の束を持ちはじめたのを見て、悔しくてたまらなくなりました。とにかくこの十枚だけは配ろうと思ひ、がむしやりに配り続けました。やっと十枚配った時には休憩時間になっていました。

休憩所に向かっていている途中、ふ

と飾られている短冊に目をやると、「二期一会」という文字

が書かれていたのを見つけた。それを見て、「私は十枚しか配れな

かったけど、確かに十人の人とコミュニケーションを図れたんだ」と思えました。それから私は、様々な人に声を掛けられるようになり、さらに十枚を軽く越える短冊を配ることが出来ました。

この夏ボラを通し、コミュニケーションを取るこの大切さがよく理解出来ました。友達に誘われて参加した夏ボラでしたが、終わってみると自分を変えられた、いい経験になったと思います。

●●● 笑顔の裏にあった努力の汗 ●●●

次は認定NPO法人グループゆうで高齢者への配食サービスのボランティアをした常盤木学園高等学校の鈴木恋さんの体験談です。

私は、お弁当の盛り付けの手伝

いと配達をするボランティアを体験しました。

私がここに参加した理由は、料理をするのが好きだからです。もっとも学んだことは「笑顔」と「その裏方」の大切さです。

初日緊張していた私にグループゆうのスタッフさんが「ただ笑っているだけでも、おじいちゃん、おばあちゃんは嬉しいから大丈夫だよ」と言われ、最初は頑張った「つくり笑い」でしたが、元気なおじいちゃん、おばあちゃんを見ていると私は自然と本当の笑みがこぼれました。「人の笑顔はまた違う人の笑顔をつくっていくんだなあ」と気づきました。

お弁当の盛り付け等のお手伝いの時も、スタッフさんが一人ひとりの注文を受けて、「ご飯の堅さや細かいところへの気遣いがあるからこそ、安心して美味しいお弁当が食べられるんだなあ」と思いました。そして、人があまり見えない人の努力があ



シニアのための市民ネット
ワーク仙台



グループゆう事前打合せ

るから、こんなにも元気なおじいちゃん、おばあちゃんがいるんだなあ、と思いました。

福祉の仕事は、裏で支える人がいるから表は安心できることを学びました。将来は、裏方の存在を忘れずに、自分が輝ける場所を見つけていきたいと思えます。

●●● 子どもの笑顔のちから ●●●

すべての人がスポーツを楽しむための活動を行っているNPO法人石巻スポーツ振興サポートセンター。石巻西高等学校の小池直矢さんの体験談です。

今回の夏ボラ体験は夏休みに普段できない事をしてみたいという思いから参加を希望しました。初めてのボランティアだったので、緊張もありました。

今回の活動内容は、スポーツを通して子ども達を元気にするという目的で、キックベース大会の運営をサポートするというものでした。

高校生になり、小さい子どもたちと遊ぶ機会があまりなかったの、スポーツを通して触れ合っ、子どもが笑顔で元気に運動を楽しんでいる様子を見ると、自分も周

◀キックベース開始前の挨拶も、しっかり



りの大人達も自然と笑顔になってい、るので、子どもの笑顔の力のすこさを実感しました。

●●● 勝敗を気にする ●●●

のではなく、どうしたら運動が得意な子と不得意な子が一緒に笑顔で楽しめるかを、大人が全て考えて押し付けるのではなく、子ども自身にも考えさせていくことが重要だと感じました。そうすると子どもたちが自分だけでなく周りの人達のことを考えるようになり、それが子ども自身の成長にもつながると思います。

今回の夏ボラ体験を通して、子ども達のスポーツを心から楽しむ笑顔に元気をもらうことができ、体験してみないとわからないことが色々発見できました。

●●●●● 「変わり者」という偏見を捨てよう ●●●●●

発達障害児のサポートをする認

定NPO法人みやぎ発達障がいサポートネットにて体験した仙台白百合学園高等学校の小野舞理彩さんの体験談です。

私は発達障がいを抱える子ども達と触れ合うボランティアを体験しました。発達障がいに対して多くの人が「落ち着きがない」、「感情のコントロールが難しい」などのような悪いイメージを持っていてと思います。しかし、私が体験先で見た子ども達の姿は二つありました。一つは発達障がいの子ども達が持たれる悪いイメージのように言葉でのやりとりが難しい、こだわりが強いということ。実際、ボランティアとして子ども達と接する中で、私が話しかけても返事をしてくれなかったり、いつも遊びが統一されており、パターン化しているため「これじゃなきゃ嫌だ」という強いこだわりも見られました。もう一つは、得意なことをたくさん持っているというところ

です。具体的には、ゲームの得意な子、切り絵の得意な子、将棋の得意な子、鉄道博士、歴史博士など普通の人にはなかなかないような多種多様な才能を持っています。私が今回のボランティアで一番学んだことは障がいを持つ人に、「変わり者だ」という偏った見方をしはいけないということです。障がいを持つ人にも良い所はたくさんあります。悪い所ばかりを見つけて近寄らないのではなく、良い所をたくさん見つけることが大切だと私自身も考えるようになりました。はじめは障がいのある子どもたちとどのように接していいのかわからず、戸惑いましたが、子どもたちとかわっていくうちにだんだんコミュニケーションをとれるようになり、時間があつという間に感じました。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

皆さんいろんな体験をして、それぞれの気づきがあったようです。未知の世界に一歩踏み出したことで、社会の矛盾に気づいたり、新たな自分自身を見つけた高校生もいました。主催者として、こんなにたくさん気づきがあったことに感謝します。



▶みやぎ発達障害サポートネット

学校外の学びを応援する 法律をつくらう全国キャラバン!!

IN 仙台 開催報告

NPO法人アスイク 代表理事 大橋 雄介

▶キャラバン

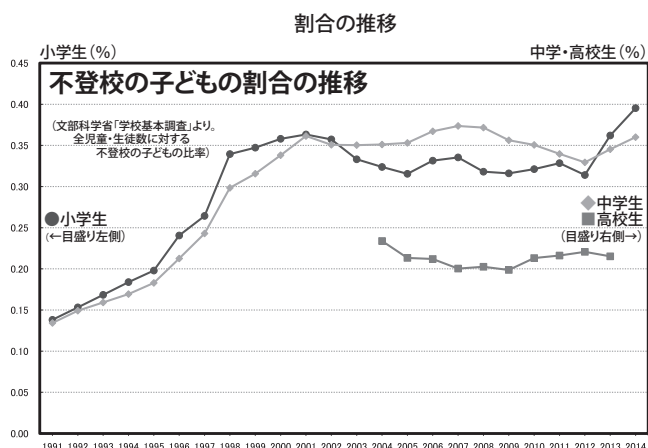


七夕祭りでにぎわう中、仙台で全国に先駆けたイベントが開催されました。「学校外の学びを応援する法律をつくらう 全国キャラバン」と名付けられたこのイベント。いま、超党派の議員連盟やフリースクール等が連携し、「多様な教育機会確保法」という革新的な法律をつくらうとしています。少し前に一斉にニュースで取り上げられたので、記憶にある方もいらっしゃるかもしれません。全国のフリースクールが加盟するNPO法人フリースクール全国ネットワーク(以下、フリネット)が中心となり、この法律への関心を高めたり、意見を吸い上げるために全国キャラバンを開始しました。

進む少子化にも関わらず、 不登校率は高止まり

この新法が成立することで最も影響を受けるのは、不登校の子どもや保護者です。「具体的にはどのような影響?」という疑問にお答えする前に、カンタンに日本の不登校の現状をおさらいします。

文科省が発表した二〇一四年度の調査では、日本の不登校児童数は、約十二万人。不登校発生率は、中学生二・八〇%、小学生〇・四〇%で、少子化で児童数は減少しているにも関わらず、横ばい、微増傾向です。特に宮城県は、



▲図1 不登校児童率の推移

文科省が二〇一五年八月五日に公表したフリースクールに関する調査結果では、全国でおおよそ五百のフリースクールが存在し(半数はNPO法人が運営)、義務教育段階の約四千二百人が利用していることが明らかになりました。フリースクールは、日本社会に着実に根づき、学校に行けない自分を責め続けた子どもが、自分だけじゃないんだという気づきを得たり、誰かに寄りそってもらおうとで力を取り戻す場となっています。

法案の背景にある、 フリースクール利用者の 増加と問題

このように最近注目を集めている不登校ですが、当然ここ最近ポツと生まれた現象ではありません。七〇年代半ば頃から増え始め、八〇年代半ば頃から親の会などを土台にして、民間のフリースクールも増加。二〇〇一年には、全国のフリースクール等をむすぶネットワークとして、フリネットが設立されました。

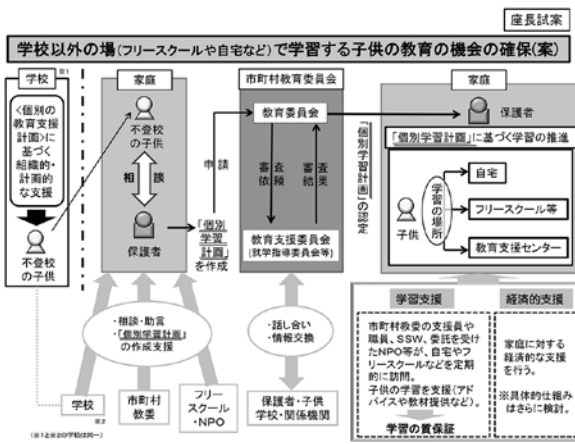
二〇二二年度、二〇二三年度に全国でもっとも不登校児童率が多い都道府県となり、さらに震災後に増加している傾向も見受けられます。

しかし、フリースクールを取り巻く環境は厳しいものだったのも現実です。本来義務教育は無償ですが、子どもや保護者にとつて、フリースクールを利用する経済的負担が決して小さいものではありません。また、二重籍といわれる問題も発生。籍は学校にあるものの、実際はフリースクールに通っており、それが出席日数として認められるのか、子どもが保護者や学校との板挟みになることもありました。一方のフリースクールにとつても、公的な支援が一切ない中、利用者の会費のみで運営していくのは困難で、寄付や助成金などを組みあわせて何とかやりくり。スタッフの待遇も、学校の先生と比べ物にならないほど低いものです。遡ること十五年。このような現状を変えようと、フリースクールが中心となり、多様な教育機会確保法の前身となる法律の制定を働きかけてきました。政権交代などの紆余曲折を経て、二〇一五年度になつてようやく国会への上程目前までたどりついています。

●●●●●
**多様な教育機会確保法は、
革新的であり、現状追認**
●●●●●

それでは、多様な教育機会確保

法がどのような内容なのか。平たく言えば、この法律によって、学校教育法に掲げられた一学校（いわゆる学校）以外で学ばせても、親が子どもの就学義務を果たしたことになる。これまで教育は学校でしか受けさせられなかったという状況から考えると、非常に革新的な法律です。具体的には、二〇一五年五月二十七日に開催された超党派フリースクール等議連と夜間中等義務教育拡充議連の合同総会にて座長試案として提出されたポンチ絵をご覧ください。



▲図2 多様な教育機会確保法のポンチ絵

何らかの事情で学校に行かなくなった子どもは、保護者と一緒に個別学習計画を作成します。ここで大切なのは、大人の価値観で学

習内容を決めてしまわないよう柔軟な運用をすることです。

次に、個別支援計画は、市町村教育委員会が審査、認定されます。ここでのポイントは、教育委員会が直接審査をするのではなく、教育支援委員会という別機関で審査されること。そして、教育支援委員会には民間フリースクール等の人も入ることです。多様な教育を、「数学で〇点以上をとる」といった狭義の教育に閉じられないよう、既存の学校関係者以外の視点が入ることは非常に重要です。

個別支援計画が認定されると、計画に沿って子どもたちが選んだ場所で学ぶことができます。そこにはフリースクール等の民間施設も入りますし、適応指導教室といった公的な支援施設もここに位置づけられます。最も特徴的なのは、自宅が選択肢に入ることです。これまでも不登校児童のかたりの割合が自宅で生活する子どもたちでした。そういった子どもたち、保護者も認められるようになることは、かなり大きな転換といえるでしょう。

また、フリースクール等を利用する家庭には、利用料を軽減する経済的な支援も検討されます。フリースクールを取り巻く経済的な

問題については、先に述べた通りです。

今まで通り、学校に籍を置いたまま不登校になることを選択できることも補足しておかなければなりません。画期的な法律であるがゆえに「公教育が壊れる」、「既存のフリースクールの自由度が失われる」などさまざまな不安を感じられる方もいますが、この法律の基本的な考え方は、あくまで「現状追認」です。今まで公的な支援がベースにあります。この法案が国会で成立するかどうか。予断を許さない状況です。一人でも多くの市民に、不登校児童や保護者が抱える悩み、その悩みを解消する新しい法律に関心を持っていただけのことをお願い申し上げます。

NPO法人アスイクとしても、七月から仙台駅東口にフリースクールを開設しました。不登校率が全国でも高い宮城県に新たな学校外のまなび場をうみ出すことで、不登校の子どもが抱える課題の解決に貢献してまいります。

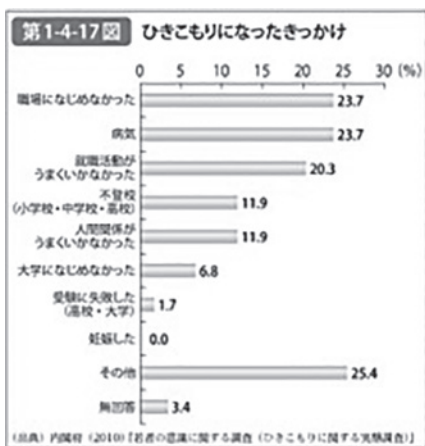
信頼できる人との出会い ひきこもりからの脱出

近年、子どもから成人に至る広い層で増加しているひきこもりの現象は、深刻な問題となっている。

ひきこもりとは、厚生労働省によると、「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、六か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」とし、「時々には買い物などで外出することもある」という場合も「ひきこもり」に含めると定義している。

内閣府が平成二十二年二月に実施した「若者のひきこもりに関する実態調査」によると、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」に該当した人が二十三万六千人、と報告されている。調査では、ひきこもりになったきっかけは、図のように仕事や就職に関するものが多い。

この現状に対し、平成二十二年四月に「子ども・若者育成支援推



進法」が施行された。この法律は、教育、福祉、雇用など各関連分野にわたる施策を総合的に推進するとともに、ニート、ひきこもりといった困難を抱える若者への支援を行うための地域ネットワークづくりの推進を図る内容で、「ひきこもり地域支援センター」は、その地域ネットワークを構成する機関とされている。

宮城県にも相談口として、宮城県ひきこもり地域支援センターや仙台市ひきこもり地域支援センター、はあとぽーと仙台など公の

機関があるほか、民間のひきこもり支援機関もある。

ひきこもってしまった時、誰に相談するのかの調査では、自分の話を「親身に聞いてくれる」相談機関を最も求めている(三二・一%)ことが明らかとなり、その一方で、「相談したくない」も二十七・一%と多く、相談機関の条件に関わらず相談を避ける人も存在することが示された。

●●当事者の講師から学ぶ大学●●

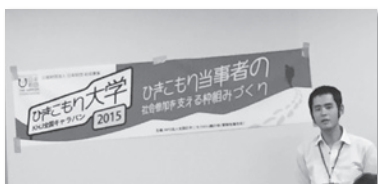
先日、仙台で「ひきこもり大学」が開催された。この大学は、ひきこもっていた人が先生となってその経験から得られた知恵などを講義するもので、周囲の誤解を解き、家族関係を改善していくというものである。先生は、授業で話したい、伝えたいテーマに沿って、自分で自由に学科名を決める。実際、仙台での講義は、社会共同構想創造学部みんなで器を広げあおう学科や、社会通念学部、「発達障害による社会通念における多角的思考領域の促進」だった。

社会的には不利とされる「空白の履歴」の経験や知識、知恵を価値に変えることも目指した趣旨であることから、同じ状況にある人

の話を書きたいという当事者も数多く参加していた。主催した全国引きこもりKHHJ親の会(家族会連合会)は、外出できない当事者に代わり家族がつかないことで当事者や家族が孤立しないよう活動している。これまで、親の思いが先走り、当事者の求める支援とズレが起きてしまうことも有ることから、当事者が主体となって始まったこの動きを各地のNPOと共催して開催している。

今回の講師は講義の中で、『親が「引きこもりを直したい」といつても、当事者は無理。直すんではないです。社会に失敗しているのに、また社会に戻すんではダメなんです。鳥類のペンギンだから飛べるだろうと、飛べないペンギンを無理やり飛ばせようとしてほしくない』と語った。

仙台の共催団体であるNPO法人KHHJ宮城県「タオ」理事長の武田和浩さんは、「ひきこもる若者は、弱さがある反面、感受性が高い人が多い。抱える悩みを信頼できる人に出会い、アドバイスをもらうことで見方が変わることも有り



▲講師のお話

ます。でもひきこもることでも情報も遮断してしまい、そのような人に出会うこともできない。だから誰にも相談しないで、引きこもりを続けることになる。何とかきつかけを作る親の役割も重要ですね。時間をかけ、自分で一歩外に出るきっかけ。」と語った。

現在、NPO法人まきばフリースクール理事長も務める武田さんも、実は十八歳の時挫折し、生きる意味と目的を見い出せずに苦しんだ、とブログで明かす。その絶望のどん底から救われた時に、自分と同じように途方に暮れてもがき苦しむ若者たちを迎え入れ、作物や動物を育てながら、自然の中で、一緒に労働に汗を流し、生活の中で希望を紡いでいく「福音牧場」をつくるとうと志した。それから様々な経験を積み、何度も挫折をくり返し、やっと十六年前に現栗原市高清水に「まきばフリースクール」を設立。平成二十二年にNPO法人となった。現在は、十人が通うフリースクールと、「誰もが安心して働ける居場所づくり」と「安心して働き続けられる自分

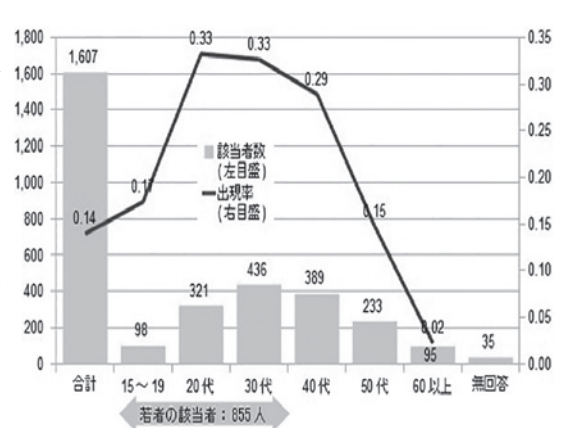


づくりの支援」に取り組むまきばワークス、さまざまな事情で家庭で生活できない青少年が就労による社会的自立を目指して共同生活する自立援助ホーム「峠のまきば」、里親と児童養護施設の間で家庭的な環境を目指す小規模施設ファミリーホーム愛子園、自立に向けた生活指導などを行い自立を手助けする自立準備ホームを運営する。また、ホームのメンバーが社会参加への一歩として手伝う介護保険事業所も営利法人で経営している。個人々々のそれぞれのステージに応じて、自分を受け入れてくれ、認めてくれる居場所をつくっている。もちろん当事者や家族からの相談には相談センターで、平日の日中、有料(初回無料)で対応している。

●●● 課題は、高齢化 ●●●

平成二十二年に行われた引きこもりの実態調査は、十五歳から四十歳未満を対象にしていたが、実は引きこもりの年齢が高齢化し、問題が大きくなってきた。

子ども・若者育成支援推進法で支援できるのは三十九歳まで。それ以上の年齢は支援から外されている。全国的に支援団体でも支援対象者に年齢制限をもうけている



▲山形県「困難を有する若者に関するアンケート調査結果」より

場合があり、親も高齢になってきているなどの理由から、行き詰まってしまう場合が多い。家族が相談に行っても年齢を理由に支援を拒否されることが少なくないという。

平成二十五年に山形県が引きこもりの実態を調査した。地域の実情に通じた民生委員・児童委員等に対するアンケート形式の調査を実施とところ、十五歳以上の県民のうち、引きこもりは千六百七人、そのうち四十代以上が七百十七人だった。これはほぼ半数が高齢の引きこもりであるということを示している。

この現状から「親が生きているうちに何とか」という悲鳴にも似た声が聞こえてくる。

前出のひきこもり大学の関係者の一人であるジャーナリストの池上正樹さん※は、「今は、ネットで情報を得る若者が多い。家から出なくてもネットで情報を得て、自分を受け入れてくれるかもしれないという居場所を見つけたら、自分で出てくるという例もある。ひきこもり大学のように当事者が自由に発信するためのイベントなら、同じ痛みを抱えた者ならではの配慮や安心感があって、出ていきやすい。大学に関するのならメールで相談してほしい。ネットを使っていない人は、自治体の相談窓口や広報誌、新聞などの情報入手することで、必要な社会資源につながる可能性がある」と語る。

引きこもりの要因に、退職した後の再就職ができない若者、採用されない中年層、発達障害を持っているなど様々だが、社会的な課題の大きさに、そう簡単に問題解決は進みそうにない。

当事者や家族は早い段階でまずは相談。

●NPO法人まきばフリースクール相談センター
携帯：090-3127-8925(中山)
E-mail：npomakiba@yahoo.co.jp
●池上正樹著「大人のひきこもり」(講談社現代新書)
E-mail：otonahiki@gmail.com

10月18日開催!

今日から、始める。市民活動!

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

みやぎNPOフォーラム2015

みやぎNPOプラザで毎年秋に開催する恒例のイベントのみやぎNPOフォーラム。今年は十月十八日に、「今日から、始める。市民活動!みやぎNPOフォーラム2015」として開催します。

このイベントの目的は、宮城県内の市民活動を活発にするため、市民とNPOとの交流の場を提供し、また各NPOの発展を促す学びの場、出会いの場を創り出すことです。

「NPO」の原点を 問い直そう

今年のフォーラムで目玉となるのは、午後に行われるパネルディスカッション「私たちがNPOである理由」です。

NPOはなぜNPOとして活動を行うのでしょうか。ただ事業を行うのであれば企業や、他の組織形態でも構いません。NPOであるからには、そこにはただ事業を実施するにとどまらない、NPOであることの意味があるはず。

そこで「NPO」にこだわりの持つ活動しているパネリストとして、中村祥子さん(認定NPO法人グループゆう代表理事)、小玉順子さん(NPO法人おおさき

地域創造研究会事務局長)、飯嶋茂さん(仮認定NPO法人麦の会代表理事)を招き、改めてNPOの原点、NPOの存在意義を探ります。他では聞けないディープな議論をご期待ください。

フォーラムでは、パネルディスカッション以外にも内容盛りだくさん。

まず午前中にはNPO活動に役立つ講座として、「チームワークを高めるためのアイスブレイク講座」を開催します。

アイスブレイクとは、イベントやセミナーなどで、参加者の緊張をほぐし「場の固い雰囲気や和らげるためのアクティビティです。その用途は幅広く、イベントで参加者どうしの距離感を縮めたり、会議での議論を活性化させるために使ったり、と色々に応用が効きます。

今回の講座では、このアイスブレイクを利用して、チームワークを高める方法を学びます。ス



▶ 昨年のみやぎNPOフォーラムの様子

タッフ間のチームワークを高めた、純粋にアイスブレイクを学びたい、そんな方々のご参加をお待ちしています。(※本講座の内容は変更になる可能性があります。詳細はみやぎNPOプラザまでお問い合わせください。)

NPOを知る、 NPOと交流する

フォーラムのメイン会場となる交流サロンでは「みやぎのNPOひろば」を開催。ここではさまざまなNPOがステージ発表やグッズ販売、ものづくりワークショップなどを行い、それぞれの活動を分かりやすくアピールします。ちょっと立ち寄るだけで、NPOを身近に感じられること請け合いです。

フォーラムを締めくくるのは、「NPOと市民の大交流会」。参加者どうしの交流を深め、自由に語り合える場をつくります。NPOについての情報収集するもよし、事業構想を誰かと共有するもよし。最後はみんなで大い楽しみましょう!

フォーラムの詳細については、みやぎNPO情報ネットに順次アップしていきます!

プラザのNPO向け相談・講座

お申込みはコチラから

NPOのためのマネジメント講座
人間関係のトラブルを防ぐしくみづくり

9/11(金) 13:30~15:30

基本を押さえる!
NPOのための税金初級講座

9/16(水) 13:30~16:30

会計・税務相談

9/25(金) 13:00~17:00

コミュニティ・ビジネス相談

10/9(金) 13:00~17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者:認定特定非営利活動法人社の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

生き生きチャレンジ2015 福祉作業所「アートの力」助成

- 助成対象：創作活動を生かしアート作品などの制作や関連製品の開発・販売に取り組み、工賃アップを目指す福祉作業所の設備投資費など
- 対象団体：地域活動支援センターや福祉作業所を運営する団体
※小規模で財政基盤の弱い団体を優先します
- 助成金額：一事業所につき、上限100万円
- 応募締切：9月25日(金)当日消印有効
- 連絡先：読売光と愛の事業団・作業所係
TEL：03-3217-3473
URL：http://www.yomiuri-hikari.or.jp/

- (2)地域の人々の主体性を育む事業
- (3)地域の人々に長期的視点を持ちながら寄り添う事業(概ね5年以上の長期とする)
- 対象団体：岩手県・宮城県・福島県のいずれかに活動拠点を置き、1年以上の活動実績を有する民間の非営利組織(法人格の有無・種類不問)
- 助成金額：1件あたり300万円以上、500万円以内
- 応募締切：10月15日(木)必着
- 連絡先：認定NPO法人日本NPOセンター
『東日本大震災復興支援 JT NPO応援プロジェクト』事務局(担当：中川、西口)
TEL：03-3510-0855
URL：http://www.jnpoc.ne.jp/?tag=311jisin-fund-jt

平成28年度 公益事業振興補助事業助成金

- 助成対象：公益・社会福祉の増進、東日本大震災復興支援事業
- 対象団体：NPO法人、財団・社団法人、社会福祉法人、更生保護法人、商工会及び商工会議所等(詳細は下記URL参照)
- 助成金額：①公益の増進
・社会環境・国際交流：上限金額の2/3を補助
・スポーツ・医療・公衆衛生・文化教育・社会環境：上限金額の1/2を補助
新世紀未来創造プロジェクト：100万円
②社会福祉の増進 上限金額の3/4を補助
③東日本大震災復興支援事業 300万円
- 応募締切：9月30日(水)13:00
※別途要望書類の郵送も必要、10月6日(火)17:00必着
- 連絡先：公益財団法人JKA
URL：http://www.ringring-keirin.jp/index.html
※RING!RING!プロジェクトホームページお問い合わせフォームからお問い合わせください。

「みやぎチャレンジプロジェクト」助成

～あなたの団体の活動費を共同募金会と一緒に集めませんか?～

- 助成対象：各団体が取り組む社会課題解決事業(まちづくり、過疎、居場所作り、ニート、不登校、自殺、孤立、貧困、DV、ホームレス等)
- 対象団体：宮城県内に活動拠点が有り、県域または各市町村で活動している民間の非営利団体。5名以上で構成され、団体として原則1年以上の活動実績があること(詳細は下記URL参照)
- 助成金額：1団体助成申請額は10万円以上
団体に寄せられた寄付金の全額を助成
※ただし、寄付金の入金管理や広報用資材作成費として団体に寄せられた寄付額の10%を事務手数料としてご負担いただきます(事務手数料上限10万円、寄付額が10万円未満の場合は負担なし)
- 応募締切：10月15日(木)必着
- 連絡先：社会福祉法人宮城県共同募金会
TEL：022-292-5001
URL：http://www.akaihane-miyagi.or.jp

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(第18次/最終募集)

- 助成対象：東日本大震災で被災された方々を支援するボランティア活動等全般
被災地における活動に加え、日本全国の被災者の避難先における活動も対象とします
- 対象団体：被災地をはじめ全国で、東日本大震災で被災された方々への救援、支援活動を現に行うボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人等(詳細は下記URL参照)
- 助成金額：1)短期(30日未満)：50万円以内
2)中長期(30日以上)：300万円以内
3)重点活動助成(350日以上)：1,000万円以内
- 応募期間：9月14日(月)～10月6日(火)必着
- 連絡先：社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部(ボラサポ担当)
TEL：03-3581-3846(代表)
URL：http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html

2015年「花王・みんなの森づくり活動助成」

- 助成対象：①森づくり活動分野：植樹や樹木の管理、里山や雑木林等での保全と復元活動
②環境教育活動分野：緑地や里山をフィールドとした環境教育活動で、植樹や里山保全活動等を通じて環境を大切にすることを育む活動
- 対象団体：国内で身近な緑を守り、育てる活動に取り組んでいる団体、子どもたちに緑との触れ合いの機会を創出する活動に取り組んでいる団体
※国や地方公共団体、営利を目的とした団体は対象外
- 助成金額：1団体上限50万円(1年目)
※継続団体に対する2年目以降の上限は、2年目50万円、3年目25万円
- 助成期間：2016年3月～2019年3月までの3年間
※活動の状況によっては、2年目以降の助成の継続を中止する場合があります
- 応募締切：10月16日(金)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人都市緑化機構
「花王・みんなの森づくり活動助成」事務局
TEL：03-5216-7191
URL：http://www.urbangreen.or.jp

第10回現地NPO応援基金 「東日本大震災復興支援JT NPO応援プロジェクト」

- 助成対象：(1)地域の人々の希望を支える事業

10/2

助成金申請を再点検

助成金を申請する際に必要な、助成元が理解しやすい事業計画・予算のたて方や、事業終了後の報告の仕方などについて学びます。

- 日 時：10月2日(金) 14:00～16:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
- 講 師：大久保 朝江
(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 対 象：仙台市内のNPO法人
- 定 員：20団体(申込先着順)
- 参 加 費：800円(税込)
- 申込方法：下記連絡先まで、TEL・FAX・郵送・E-mailにて申込み、参加者名、団体名、連絡先をお知らせください
- 主 催：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる・仙台市
- 連 絡 先：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
(連絡先は裏表紙をご覧ください)

10/3

第7回つるがや元気まつり
「私たちのまち 鶴ヶ谷 つなごう未来へ」

私たちは、鶴ヶ谷地域の活性化と、誰もが安心して暮らせる、明るく元気な鶴ヶ谷を目指して地域の皆さん、商店街及び諸団体様との連携、協力により活動を続けています。今年も会員一丸となり、明るく元気のある楽しい祭りを目指し開催します。

- 日 時：10月3日(土) 9:30～16:00
※雨天の場合、翌日4日(日)に延期
- 場 所：生鮮いちば前広場(ステージ)
アバイン広場(フリーマーケット)
(仙台市宮城野区鶴ヶ谷2-8-1)
- 内 容：楽しいステージ催し物(町内18団体出演予定)
骨密度無料測定、フリーマーケット(15店予定)、
露天・緑日など
- 抽 選 会：豪華おたのしみ抽選会
当日配布のプログラムに抽選券がついています
抽選券投函締切は14:30です
- 駐 車 場：まつり専用駐車場は、鶴ヶ谷中学校グラウンドに
用意していますが、限定台数の為に極力公共交通
機関にてお越しください
- 主 催：つるがや元気会、鶴ヶ谷中央商店街
- 連 絡 先：ひまわり手芸店(担当：芦澤)
TEL：022-251-5663

10/4

健康的に歩いて巡る地域の歴史散策
～仙台三十三観音巡り～

仙台の三十三観音はすべて市内の交通の便の良い所にあるに

もかかわらず、あまり存在を知られていません。めったに歩かない「杜の都・仙台」を歩き、今まで見えなかった街の顔や自然を発見しましょう。

- 日 時：10月4日(日) 8:45集合 9:00出発
- 集合場所：みやぎNPOプラザ・みやぎ婦人会館前(榴ヶ岡)
※参加申込みをした方には詳しい集合場所を連絡します
- 内 容：第二行程：12番～25番札所
「新寺・木ノ下札所が多く12番札所から25番札所の第二行程地域」
- 定 員：50名
- 参 加 費：楽遊ネットワーク宮城会員2,000円、
一般2,500円(レジャー保険料、小冊子代含む)
- そ の 他：全行程徒歩、各自おにぎり持参で歩きやすい
服装にてご参加ください
- 申込方法：申込用紙に必要事項を記入のうえFAXで申込み
TEL・E-mailでも申込可、申込用紙の書式は
下記URLから印刷できます
<http://www.eikaiwa-sendai.jp/rakuyuukannonmoushikomi.html>
- 主 催：NPO法人楽遊ネットワーク宮城
- 連 絡 先：TEL：022-261-9869 FAX：022-261-0546
E-mail：eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp
URL：http://www.eikaiwa-sendai.jp/rakuyuu.html

10/10

第9回仙台城親子クイズラリー

仙台城跡を歴史のクイズに答えながら廻る、「仙台城親子クイズラリー」を開催します。小学生なら誰でも参加できます。

- 日 時：10月10日(土) 9:30～12:00
- 場 所：仙台市博物館前～仙台城本丸跡まで
- 対 象：小学生《4・5・6年生》とそのご家族
- 定 員：先着50組
- 集合場所：仙台市博物館前に9時20分まで
- 参 加 費：無料
- 申込方法：参加者氏名、小学校名、学年、住所、TELを記
載のうえ、FAXまたはE-mailで申込み
※傷害保険に加入するため、参加者全員の氏名
記入をお願いします
- 申込締切：9月24日(木)
- 主 催：NPO法人仙台城ガイドボランティア会
- 連 絡 先：TEL：090-3123-7985(理事長 小齋)
FAX：022-266-8553
E-mail：hha03520@nifty.com
URL：http://www.sentabi.jp/volunteerguide/
guide/sendaijo.html

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、
FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。 ○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

寄付のお願い

みやぎのボランティア・市民活動の情報を発信している月刊情報誌「月刊杜の伝言板ゆるる」。1997年の創刊以来、皆様のご寄付と応援に支えられて、毎月欠かさず発行を続けてきました。これからも情報誌を通して、みやぎの市民活動を発信し、ボランティアや市民活動に取り組みやすい環境をつくっていきます。活動へのご支援よろしくお願いたします。

「認定NPO法人」である当法人へのご寄付(賛助会員の会費含む)は、税制上の優遇措置(寄付控除)の対象となります
当法人を応援して下さる方のご寄付は、こちらから受け付けております。

【お振込み先】
郵便振込口座 02250-0-43800
加入者名 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
※会員申込については、P14をご参照ください

- 定員：20名
- 参加費：1,000円(船代)
- 申込方法：下記連絡先まで、TEL・E-mailで事前申込み
- 主催：NPO法人NPOみなとしほがま
- 連絡先：TEL：022-361-0685(担当：高橋)
E-mail：minatoshiogamaguide@gmail.com
(担当：鈴木)

9/26 もっと知ろう 認知症のこと ～話し合いませんか?～

高齢社会に避けて通れない「認知症」について、もっと知っておきたい新しい知識や、国の介護方針の変更、地域で支える仕組みについてご紹介します。

- 日時：9月26日(土) 10:00～12:00
- 場所：エル・パーク仙台 セミナー室
- 講師：佐藤 富美子氏(介護支援専門員)
- 参加費：300円
- 申込方法：下記連絡先に問合せのうえ、参加
- 主催：21世紀をひらくみやぎ女性のつどい
- 連絡先：TEL：022-266-1028(担当：服部)
TEL：022-229-1524(担当：天野)

9/26 認定NPO法人ロージーベル主催 ボランティア養成講座

帰る場所のない少年を受け入れ、更生と自立を支援するための「少年の家ロージーハウス」を運営、青少年の健全育成に関する講演会や講座を開催しています。当法人の理念を理解し活動を支えるボランティアスタッフの育成を目的として、ボランティア養成講座を開催します。

- 日時：9月26日(土) 10:00～16:30
- 場所：仙都会館 3階会議室
(仙台市青葉区中央2-2-10)
- 内容：①10:00～11:00「子どもの人権・少年事件の付添人活動」
②11:10～12:10「更生保護について」
③13:10～14:10「ロージーベルの活動」
④14:20～15:20「ボランティア実務」
⑤15:30～16:30「子どもの発達心理」
- 対象：青少年育成やボランティア活動に関心のある市民
- 定員：30名
- 参加費：1講座につき500円(資料代実費)
全過程一括申込の場合、5講座で2,000円
※当日、現金でご持参ください
- その他：・1講座だけの受講も可能
・全課程(計5講座)の受講を修了された方には、当法人のボランティアスタッフとなるための資格が認定されます
・実際にボランティアスタッフとして活動していただくためには、さらに事前研修を受けていただく必要有
- 申込方法：下記連絡先にFAX・E-mailで申込み
申込み時、住所、氏名、TEL、職業、参加の動機、1コマ～5コマで参加を希望する講座をお知らせください
- 申込締切：9月18日(金)※定員に達し次第締切
- 主催：認定NPO法人ロージーベル
- 連絡先：TEL：080-1695-4032 FAX：022-398-9892
E-mail：rosyhouse@rosybell.jp
URL：http://blog.rosybell.jp/

9/26 難病患者等 ボランティア講座 「障害があっても旅を楽しみましょう」

難病患者や障害者にとって、外出や旅行は不安や心配がつきものです。講座では身体に障害があっても、交通手段の選び方、障害者向けのサービスを知ることにより自由楽しく旅行を楽しめる方法を学びます。

- 日時：9月26日(土) 10:00～16:00
- 場所：仙台市シルバーセンター 7階 第1研修室
- 講師：伊藤 清市氏(NPO法人ゆにふりみやぎ理事長)
- 対象：障害をお持ちの方やそのご家族、ボランティア活動に興味のある方、その他どなたでも参加可
- 参加費：無料
- 申込方法：9月7日(月)11:00～受付開始
下記連絡先にTEL・FAXで申込み
- 主催：NPO法人宮城県患者・家族団体連絡協議会
- 連絡先：TEL：022-796-9130 FAX：022-211-1781
E-mail：mpc.miyagi@beetle.ocn.ne.jp
URL：http://mpcmiyagi.com/

9/26 傾聴ボランティア公開講座 「コミュニケーションのための死生学」 ～最期まで自分らしく生きるために～

人間の生死は自分の意志や努力ではどうすることもできないものです。自身の生き方をもう一度見つめなおし考える、そんな講座です。

- 日時：9月26日(土) 13:00～15:00
- 場所：仙台市福祉プラザ 1階プラザホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 講師：清水 哲郎氏(東京大学特任教授)
- 参加費：無料 ※申込不要。直接会場へお越しください
- 主催：NPO法人仙台傾聴の会
〒981-1232 名取市大手町5-6-1
名取市市民活動支援センター内
TEL/FAX：022-343-9705
携帯：090-6253-5640
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendaikeicho.web.fc2.com/

9/27 あなたは差別をうけたこと、ありませんか? 「みんなで考えよう、暮らしやすいまちを！」

実際の出来事や現状の課題をもとに、「暮らしやすいまち」を一緒に考えてみませんか?

- 日時：9月27日(日) 13:00～15:40(受付12:30～)
- 場所：エル・パーク仙台 ギャラリーホール
- 内容：・寸劇「仙台小劇場プレゼンツ これって差別なの?」
・講演「障害者のためのから障害者とともにへ～あるべき社会や政策は?～」
- 参加費：無料(予約不要)
- 情報保障：手話通訳、要約筆記有
- 共催：誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる仙台連絡協議会(略称：条例の会仙台)
みやぎアピール大行動実行委員会
- 連絡先：条例の会仙台(CILたすけっと内)
TEL：022-248-6054 FAX：022-738-9501
E-mail：jyoureisendai@gmail.com
URL：http://blog.canpan.info/jyourei

※事前申込みは必須ではありませんが、準備の都合上、ご連絡いただくと助かります

URL : <http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/>

- 主 催 : NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連絡先 : TEL : 070-5548-2186
E-mail : griefoffice@gmail.com
URL : <http://www.sendai-griefcare.org/>

9/20 映画上映会「みんなの学校」

映画では、日々生まれかわるよう育っていく子どもたちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よるこび、そのすべてをありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？そして、あるべき公教育の姿とは？みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか？

- 日 時 : 9月20日(日)
①10:00~バリアフリー版上映(字幕・音声ガイド付)
②13:00~通常版上映 ③15:30~通常版上映
- 場 所 : 吉野作造記念館 研修室
- 定 員 : 80名(各回) ※座席は当日に指定させていただきます
- 入 場 料 : 前売券 一般900円、高校生200円、
小中学生100円
※前売券は9/18まで吉野作造記念館にて販売
当日券 一般1,000円、高校生300円、
小中学生200円
※前売券販売が定員に達した場合、当日券の販売はいたしません
- 申込方法 : チケットを吉野作造記念館にて購入し、ご観覧ください
- 主 催 : NPO法人古川学人
- 連絡先 : 吉野作造記念館
〒989-6105 宮城県大崎市古川福沼1-2-3
TEL : 0229-23-7100 FAX : 0229-23-4979
URL : <http://www.yoshinosakuzou.jp/>

9/22 杜の子まつり あそびの広場in石巻

「おもちゃのかえっこ」と、遊びや工作のコーナーで、皆で楽しく遊んじゃおう！おもちゃの「オークション」や外での遊びもあるよ！

- 日 時 : 9月22日(火・祝) 12:30~16:00
- 場 所 : 河北総合センタービックバンアリーナ
- 内 容 : 12:30~15:20 かえっこバザール
15:20~15:50 みちのく仙台ORI☆姫隊
- 主 催 : NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先 : 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX : 022-375-3548
E-mail : morinokodomo@s8.dion.ne.jp

9/23 自閉症スペクトラムをまた好きになる勉強会2015 ~まずはここから！特性理解~

「視覚支援って、どうすればいいんだろう」「自閉症や発達障害のことを本やネットで調べたけれど、具体的にどうすればいいんだろう」そんな経験はありませんか。自閉症スペクトラム・発達障害の特性理解を深めて、その人に合ったよりよい支援につなげましょう。

- 日 時 : 9月23日(水・祝) 10:00~12:00(開場9:45)
- 場 所 : エル・パーク仙台 セミナーホール1・2
- 講 師 : 加藤 潔氏(社会福祉法人はるにれの里 札幌市自閉症者自立支援センターゆい所長)
- 対 象 : ご家族、支援者、市民
- 定 員 : 160名
- 参加費 : サポートネット正会員 無料、サポートネット正会員以外の方 3,000円
- 申込方法 : 下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
E-mailの場合、件名に「公開セミナー申込」と明記し、氏名、当日連絡のつくTELをお知らせください
- 振込先 : 賛助・通信会員、一般の方は、申込み受付後1週間以内を目処に参加費を、下記指定口座にお振り込みください
・七十七銀行 名掛丁支店
(しちじゅうしちぎんこう なかけちょうしてん)
・普通口座 口座番号 : 6020798
・口座名義 特定非営利活動法人みやぎ発達障害サポートネット
※準備の都合上、ご入金後の返金はいたしません
- 主 催 : 認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット
- 連絡先 : TEL : 022-265-5581 FAX : 022-352-7088
E-mail : mddsnet@yahoo.co.jp
URL : <http://mddsnet.jp/>

9/26 NPOみなとしほがま おくの細道 島巡り

「海、みなとから塩竈を元気に」を合言葉に塩竈の歴史に興味のある市民、市外の人々が集まり、塩竈の歴史、文化を発掘、広く市民等へ発信しています。ぜひ、一緒に塩竈を船で旅してみませんか？

- 日 時 : 9月26日(土)9:40集合 10:00出発
- 集合場所 : マリンゲート塩釜
- 内 容 : 実際に松尾芭蕉が通ったルートを丸文松島汽船さんの遊覧船で巡ります。松島まで向かい、迂回するルートです



●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

- 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
- 仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

NPO法人の設立を新しく申請した団体		宮城県等所轄分 7月11日~8月10日 仙台市所轄分 7月11日~8月10日	
団体名	所在地	活動内容	受理日
認知症の予防と遅延のための音楽療法研究所	富谷町	認知症の予防と遅延のための音楽活動に関する事業を行うもの	7/21
蛇田フットボールクラブ	石巻市	スポーツに関心を持つ石巻の人々に対してフットボールの普及振興に関する事業を行うもの	7/21
仙台支え愛サポートセンター	青葉区	地域支え愛事業、食育・健康促進事業、生活相談事業	7/21
データ復旧技術研究会	青葉区	データ復旧技術について意見交換する会を運営する事業 技術向上のための勉強会(セミナー・講座)を運営する事業 データ復旧診断会を運営する事業 等	7/30

NPO法人に認証された団体		宮城県等所轄分 7月11日~8月10日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
びば!!南三陸	南三陸町	地域住民の活動拠点の運営事業等を行うもの	7/30
こどもも感ばにー	石巻市	子どもの居場所(あそび場)づくり及び子育てサポート等に関する事業を行うもの	7/30

宮城県のNPO法人数

782団体

- 宮城県等所轄 : 375団体 ●仙台市所轄 : 407団体
※2015年8月10日現在

ペーパーや壁新聞等で情報発信に興味のある方、市民活動団体や公共施設等で広報を担当している方

- 定員：30名
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先に、TEL・E-mailで申込み
- 主催：仙台市市民活動サポートセンター
- 連絡先：TEL：022-212-3010
E-mail：sendai@sapo-sen.jp

9/12 みんなの印刷物デザイン +パワーポイント講座

市民の情報発信に必要なデザイン・レイアウトの基礎を学ぶとともに、実際にPCを使用しながら、より自由度の高いパワーポイントで目を引くタイトル部分の制作などを学びます。

- 日時：9月12日(土) 13:30~16:30
- 場所：せんだいメディアテーク 7階 会議室b
- 講師：真山 正太氏(グラフィックデザイナー)
千葉 浩二氏(ITメディアオペレーター)
- 定員：10名(事前申込み、先着順)
- 参加費：2,000円(当日会場にてお支払いください)
- 持ち物：使いなれたPC(PC貸出有(台数に限り有)、貸出料500円)、パワーポイント2010以降であること
- 申込方法：下記連絡先に、TEL・E-mailで申込み
- 主催：一般社団法人メディアデザイン(担当：千葉)
- 連絡先：TEL：090-3049-0613
E-mail：kouza@mediadesign.jp

9/17 みやぎNPOプラザ 利用者懇談会 ～アツク、語りませんか？NPOのこと～

活動分野が違って、多くのNPOが抱える“人材”や“お金”や“広報”などの悩み…。「よその状況を知りたい!」「ほかの団体はどう乗り越えているの?」などの情報交換をはじめ、NPOにまつわるあれこれをざっくばらんに語り合いたい。NPOに参加してみたいな、という方も大歓迎です。

- 日時：9月17日(木) 18:30~20:00
- 場所：みやぎNPOプラザ 交流サロン
- 対象：みやぎNPOプラザを利用したことのある方
- 参加費：無料 ※お茶とお菓子をご用意しています。差し入れも大歓迎!
- 持ち物：配布用として、団体紹介パンフレットやチラシなどをぜひお持ちください
- 申込方法：事前記入シートに必要事項をご記入のうえ、下記連絡先にFAX・E-mailかプラザ窓口にて申込み
事前記入シートは下記URLからダウンロードできます。URL：http://qq5qq.info/n37m
※できるだけ、事前申込みにご協力ください
もちろん当日参加も可能
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

9/18 NPO法人アートワークショップすんぷちよ2015公演 ぶこきがアンサンブル

年齢バラバラ、職業いろいろ、障がいあったりなかったり、デコボコな人たちが「ぶこ」「きが」と奏でるアンサンブル。ぶこきがとバラバラで、でこぼこな世界をお楽しみください。

- 日時：9月18日(金)~9月23日(水)
9/18:19:30~、9/19・9/21:11:00~、18:00~
9/20:11:00~、9/22:14:00~、19:30~
9/23:14:00~
- 場所：仙台卸町イベント倉庫ハトの家
(仙台市若林区卸町2-15-6)
- 内容：ワークショップ参加者が作る舞台作品
- 入場料：一般 前売券2,500円、当日券3,000円
割引 前売券2,000円、当日券2,500円
※割引：シニア(65歳以上)、25歳以下、5歳以下のお子様づれ
障がい者・高校生 前売・当日券とも500円
※中学生以下無料
- 申込方法：前売券は、下記連絡先にE-mailで申込み
件名に「ぶこきが予約」、本文に「お名前・希望日時・券種・枚数」を明記してお送りください
- 主催：NPO法人アートワークショップすんぷちよ
- 連絡先：TEL：080-2817-5154(さいかいし)
E-mail：info@sun-pucho.com
URL：http://www.sun-pucho.com/

9/18 NPO法人のための会計初級講座

NPO法人にかぎらず、どんな組織でも最低限必要な日常の会計業務(帳票の作成や保管など)を学びます。また、適正な業務処理のための仕組みについても学びましょう!

- 日時：9月18日(金) 13:30~16:30
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
- 講師：小野 恵子さん(会計サポーター)
※会計サポーターとは、長年の企業会計・経理経験を持ち、NPO法人会計基準を学んだ有償ボランティアです
- 内容：勘定科目について/事業費と管理費について/帳簿のつけ方/お金の管理の仕組みについて など
- 対象：仙台市内のNPO法人
- 定員：20団体(申込先着順)
- 参加費：1,500円(税込) ※「Q&A NPO会計マニュアル」付
- 持ち物：筆記用具・電卓
- 申込方法：下記連絡先まで、TEL・FAX・郵送・E-mailにて申込み、参加者名、団体名、連絡先をお知らせください
- 主催：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる・仙台市
- 連絡先：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
(連絡先は裏表紙をご覧ください)

9/19 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ちなどを、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士わかちあっていただく安心な場所です。

- 日時・場所：◆仙台会場：9月19日(土)
各日14:00~16:30【毎月第3土曜日】
場所：あしなが育英会 仙台レインボーハウス
(仙台市青葉区五橋2-1-15)
◆石巻会場：10月11日(日)
各日14:00~16:30【毎月第2日曜日】
場所：カリタスジャパン石巻ベース
(石巻市末広町3-14)
- 対象：大切な方をなくされた方(死因は問いません)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailでお申込みください

- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAXでお申込み
- 主 催：一般財団法人愛知探一福祉振興会
- 連絡先：TEL：022-262-0666 FAX：022-227-1320
URL：http://www.aichi-fukushi.org/

事業案内

女性のための相談窓口 電話相談、面接相談

エル・ソーラ仙台では、女性の自立を側面から援助することを目的に、女性の生き方に関する身近な問題について幅広く相談に応じています。自立に向けて一歩を踏み出そうとしている多くの女性の方、ぜひご活用ください。

- 相談内容：夫婦、男女の問題、家族、子育て、こころの問題、ドメスティック・バイオレンス、デートDVなどのさまざまな問題に女性相談員が応じます
- 対象：仙台市内に在住、または市内に勤務、通学している方
- 電話相談：月曜日、水曜日～土曜日 9:00～15:30
専用TEL：022-224-8702
- 面接相談：1時間程度、要予約 月曜日～土曜日
問合せ・相談予約TEL：022-268-8302
※受付時間9:00～17:00月曜日～土曜日
※火曜日は夜間相談も行っています
※お子さん連れの方は事前にご相談ください
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台相談支援課
TEL：022-268-8302
URL：http://www.sendai-l.jp/

買い物、大変じゃないですか？ その買い物、私が代行します!!

「住み慣れた町でいつまでも」をコンセプトに地域の皆様、高齢者の皆様が快適な生活を送れるようサポートします。お水やお米など重い荷物は運ぶのが大変、忙しくて買い物に行けない、買い物に行くのが億劫だなと感じている皆さんの買い物を代行します。

- 対象：荒町・三百人町・南小泉にお住まいの方
※みやぎ生協新寺店、SEIYU五橋店、生鮮館むらぬし大和町店での買い物代行に限ります
- 利用料：2ヶ所での買い物1,300円、
1ヶ所での買い物1,000円
- 申込方法：下記連絡先まで、お問合せください
- 主 催：地域高齢者サポートみつさぽ
- 連絡先：担当：手代木
TEL：022-352-3066(東華鍼灸整骨院内)
TEL受付時間：月～金9:00～12:00、15:00～19:00

イベント

9/12 日本NPO学会震災特別フォーラム

東日本大震災後のNPOの取り組みについて、NPOの実践者と研究者が相互に学びあう機会を創出しております。興味のある方はどなたでもぜひお越しください。

- 日 時：9月12日(土) 13:00～18:00(12:45受付開始)
- 場 所：東北大学片平キャンパス エクステンション教育研究棟6F(仙台市青葉区片平2-1-1)
- 内 容：13:00～15:00
テーマ「被災地NPOの雇用について」
15:15～16:45
<研究者と被災地NPOのパネルディスカッション>
◆報告者・パネリスト
小野 晶子氏(独立行政法人労働政策研究・研修機構 研究員)
葛巻 徹氏(NPO法人いわて連携復興センター 理事・事務局長) ほか
◆コーディネーター
大久保朝江(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
17:00～18:00
日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班
テーマ「東日本大震災後設立のNPOにおける活動実態と今後の展望」の調査報告
- 参加費：1,000円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailで申込み。申込時、氏名、所属、E-mail、TELをお知らせください
- 申込締切：9月10日(木)
- 主 催：日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班
- 連絡先：事務局(担当：久保)
E-mail：npo-chosa@yururu.com
TEL：022-791-9323
(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる内)

9/12 伝えずには、いられない 集まれ! 手づくりメディア仕掛け人

東日本大震災から4年。私たちの暮らしにとって大切なものをあらためて見つめなおそうと市民一人ひとりが動き出しています。あなたのまちにある「伝えずにはいられない!」ことをみんなで話してみませんか?

- 日 時：9月12日(土) 14:00～16:00(13:30開場)
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター市民活動シアター
- ゲスト：藤本 智士さん(有限会社りす代表)
- 対象：地域活動やまちづくりに関心のある方、フリー

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2015.8.16現在)敬称略

●正会員 49名

<仙台市> ●斎藤純子 ●NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
●NPO法人せんだい杜の子ども劇場
●NPO法人ゆうあんどあい

●賛助会員 95名

<仙台市> ●豊田精一 ●藤田佐和子 ●八島徳子
●公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部

会員募集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	-□ 3,000円
賛助会員NPO	-□ 5,000円
賛助会員企業・団体	-□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 **02250-0-43800**

加入者名 **特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる**

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

8月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

仙台市、岩沼市での学習サポート・ボランティア募集!

生活保護などを受給している経済的に厳しいご家庭の中学生を対象に学習会を開催しています!子ども達と一緒に寄り添いながら勉強をしたり、子どもの話をきいてくださる方を募集中です。

- 活動内容: 子どもを承認し、励ましながらの学習サポートや子どもの話し相手
対象: 中学生
- 活動日時: 毎週月曜～金曜日のいずれか
18:00～21:00 ※拠点により前後有
- 活動場所: 仙台市(五橋・桜ヶ丘・貝ヶ森・愛子・台原・長町・袋原・柳生・八木山・富沢・榴ヶ岡・高砂・南小泉・六丁の目・市名坂・南光台)、岩沼市
※拠点により、原付、車での移動も大歓迎
※交通費は全額支給
- 対象: 子どもと向き合い、子どもの成長を一緒に喜んでくださる方
・大学生、社会人の方
・週1回以上参加できる方
(毎週が難しい場合はご相談ください)
- その他: コーチング研修会やサポーター交流会など、定期的に開催しています
- 申込方法: 興味のある方、直接団体までご連絡ください
- 募集主体: NPO法人アスイク
- 連絡先: 担当: 岡崎
〒983-0852 仙台市宮城野区榴ヶ岡4丁目5-2
大野第2ビル 2階
TEL: 022-781-5576 携帯: 070-5328-4587
E-mail: info@asuiku.org
URL: http://asuiku.org/

“ショートピース!仙台短篇映画祭2015 スタッフ大募集!!”

9月20日～22日にせんだいメディアテークで開催される『仙台短篇映画祭』。実行委員会では、今年も多くの方に楽しんでもらえるものとなるよう、現在準備を進めているところです。映画祭当日、私たちと一緒に映画祭を盛り上げてくれるボランティアスタッフを募集します。

- 日時: 9月19日(土)～9月22日(火・祝) 9:00～21:00
※4日間のうち、1～3日間でも可。活動時間も応相談
- 場所: せんだいメディアテーク
- 内容: 9月19日(土)前日準備(会場準備、配付物準備等)
9月20日(日)～22日(火・祝)受付、チケット販売・もぎり、誘導、プログラムの運営補助等
- 対象: 映画好きな方、イベントの運営に興味がある方、

お客さんと明るく、丁寧に接することのできる方、カメラ、ビデオ等の記録用機材を扱える方
※学生さんも大歓迎!

- 申込方法: 下記メールアドレスに、「当日ボランティア参加希望」と書き添えてご連絡をお願いします。数日中に、担当者から連絡します
- 募集主体: 仙台短篇映画祭実行委員会
- 連絡先: 担当: 伊藤
TEL: 090-9636-0053(伊藤)
E-mail: info@shortpiece.com
URL: http://www.shortpiece.com/

お知らせ

第13回企業フィランソロピー大賞

企業フィランソロピー大賞は、社会課題解決のために自社の経営資源を活かし、経営理念に則った社会貢献活動を顕彰し、広く紹介するものです。事業形態や規模の大小を問わず、社会課題の解決に力を注ぐ全国の企業やプロジェクトからの多数の応募をお待ちしています。

- 応募締切: 9月25日(金)
- 選考方法: 書類審査および訪問調査(ヒアリング)
- 結果発表: 12月(予定)
- 贈呈式: 2016年2月(予定)
- 表彰: 大賞1件と企業フィランソロピー賞(数件)を表彰し、賞状が贈られます。賞金はありません。
- 応募方法: 当協会所定の応募用紙を下記ホームページよりダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、ホームページ上の応募フォームに添付しご送付ください。自薦、他薦は問いません。
【ホームページ】<http://www.philanthropy.or.jp/award/13>
- 主催: 公益社団法人日本フィランソロピー協会
- 連絡先: 『企業フィランソロピー大賞』事務局
担当: 永井・藤川・石塚(いしづれ)
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル244
TEL: 03-5205-7580 FAX: 03-5205-7585
URL: <http://www.philanthropy.or.jp/>

平成27年度 みやぎ社会貢献大賞 応募説明会

みやぎ社会貢献大賞は、これまで地域で社会貢献活動をしてきた市民活動団体に、応援の意を込め大賞を贈るものです。ぜひ、みなさんお越しください。

- 日時: 10月6日(火) 13:30～15:00
- 場所: エル・ソーラ仙台 大研修室(アエル28階)
- 内容: ◆過去受賞団体の報告
・NPO法人FOR YOU にこにこの家
・NPO法人せんだい杜の子ども劇場
◆「みやぎ社会貢献大賞」応募説明会
- 参加費: 無料



ろうきん 教育ローン



入学金・授業料や仕送り費用など、教育に関するさまざまな
 使いみちに。大切なお子さまの未来を応援します。

固定金利5年 年2.50%~(保証料込)

**口座開設
特典** 図書カード500円分&
 オリジナル通帳ケースプレゼント!

- 実施期間:2015年4月1日(水)~2016年3月31日(木)
- 対象者:学生の方(教育ローン資金使途対象の方)
 ※高校・大学・専門学校等への入学・在学の方を対象とします
- 対象取引:普通預金口座の開設(キャッシュカード発行をセットした口座)
- ご契約者プレゼント:学生1名につき図書カード1枚(500円分)と、ろうきん
 オリジナル通帳ケース1個を進呈いたします。

お使いみち 入学金や授業料、仕送りなど、ご本人やご親族の方の教育費用

ご融資金額 最高**1,000万円**

ご融資期間 【固定金利型】最長**10年**

【変動金利型】最長**15年**

※元金返済の据置期間を含みます。



- 2015年4月1日から2015年9月末までにお申込みを受け、
 実行するご融資が対象となります。
- ご利用いただける方
 - ①お申込時の年齢が原則満20歳以上、勤続年数1年以上、
 前年の税込み年収が150万円以上の方。
 - ②当金庫の審査基準を満たされる方。
- 担保・保証人:担保は不要です。当金庫指定保証機関のご利用となります。
 保証料はご融資金利に含まれています。

※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 店頭にて説明書をご用意しています。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。

2015年9月1日現在

**ローン事前審査もローン相談予約も
 ろうきんホームページから!**



お問合せ・お申し込みは<東北ろうきん>宮城県内の最寄りの店舗へ

ろうきん 東北労働金庫

☎0120-1919-62 受付時間
 平日午前9時~午後5時
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

NPO夜学2015

~世のため人のため、考動する人になるための道しるべ~

第1回

**NPOことはじめ、
 知ることから
 始めよう**

**10月7日(水)
 19:00~21:00**

コーディネーター
庄司真希さん

認定NPO法人 社の伝言板ゆるる
 事業部門長

「NPOって何?」
 「NPOとボランティアって
 何が違うの?」など、
 NPO・市民活動について基
 本的なことを学びます。
 ワークでは『社会にどんな課
 題があるか』を一緒に考え
 ましょう!

- 会 場: みやぎNPOプラザ
- 対 象: 社会人・学生で、市民活動に関心のある方など
- 定 員: 各15名程度(申込先着順)
- 参加費: 1回1,000円(税込、お茶菓子付)
- 主 催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施: 認定NPO法人社の伝言板ゆるる

**「社会に貢献したい!」「NPOに関わりたい!」
 「でも…学生・社会人でもできる?」
 そんな想いを行動(考動)に!**

次回予定

- 11月 第2回「働きながらNPO」
- 12月 第3回「NPOのリアルを知る、体験する」
- 12月~1月 ~実践編~「NPOでボランティア」
- 1月 第4回「NPOと関わるための次の一歩」

*変更の可能性あり。最新情報は「みやぎNPO情報ネット(www.miyagi-npo.gr.jp)」でご確認ください。
 *各回募集講座ですが、「実践編」のみ第3回NPO夜学の参加が必須です。

NPOは熱い想いをお持ちのあなたを待っています!
 NPO夜学2015は、1.NPOの基礎を知る 2.NPOのリアルを知る
 3.NPOの現場を体験する 4.NPO体験を次に活かす
 の4ステップで、市民活動に関わるきっかけづくりをサポートします。
 特技や経験をNPOで活かして社会貢献をしませんか?
 新しい仲間、新しい価値観との出会いで想いを行動に移しましょう!